

授業科目名 (ナンバリングコード)	プレゼンテーション・討論Ⅱ (113A0-2305)		授業形態	演習		授業科目区分		一般科目 (総合科目)	
担当教員名	脇谷 聖美					補助担当者名			
単位数	1 単位			履修年次	3年次		受け入れ人数	20	
授業の概要	本授業は、相手の立場に立って、自分の魅力や伝えたいことを自分の言葉で表現できるプレゼンテーションや討論に関する理論の理解と実践的なスキルを培うことを目的としている。具体的には、研究・学会発表で的確に相手に伝わるプレゼンテーションのスキル、就職試験の面接や仕事など双方向なコミュニケーションが求められる中で、参画型の活発な討論をし、相手の状況や興味を惹き付けながら理解を促進し、合意（賛同）を得て、行動へ導くプレゼンテーションの理論とスキルを身につける。テキストの事前精読を踏まえて、理論は対話型講義、実践的スキルは演習（発表）とそのフィードバックをおこなう。また、視覚資料の作成と活用を実習する。授業は集中授業で、2日間実施する。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標				成績評価の方法				
	D P で 目指す 資質・ 能力	コミュニケーション力、一般教養・倫理 (科学的表現力)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
■認知的領域	・自分の考えを的確に相手に伝えるプレゼンテーションのシナリオを理論に基づいて作成できる。 ・プレゼンテーションや討論について分析・評価できる。	○		○				30	
■情意的領域	プレゼンテーションや討論について興味・関心を持ち、それを積極的かつ受講生同士で協力して探求する。	○			○			20	
■技能的領域	・双方向のコミュニケーションの中で、自分の魅力や考えを効果的にプレゼンテーションできる。 ・討論等を行って、その課題を達成できる	○			○			50	
成績評価の基準	授業の取り組みは、積極的な授業参加の状況、各演習（発表）と課題レポート等は課題に対する真摯な取り組み及び出来具合について、総合的に評価し、単位認定をおこなう。								
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：書籍『パーフェクト・プレゼンテーション』 ＊必携，＊授業実施日までに事前購読（学内売店），＊事前精読を前提に授業をおこなう （八幡紕芦史著、アクセス・ビジネス・コンサルティング株式会社発行、本体価格@3000円） 参考資料等は、授業時に適宜配布する。 参考図書：書籍『自分の考えをしっかりと伝える技術』（八幡紕芦史著、P H P 研究所発行、本体価格@1200円） 書籍『話ベタでも100%伝わる「3」の法則』（八幡紕芦史著、ダイヤモンド社発行、本体価格@1400円）								
履修条件・ 関連科目	3年次以上であること。 「プレゼンテーション・討論Ⅰ」を履修していることが望ましい。				備考(教員メッセージ含む)		選択科目であるが、卒論研究発表や就職活動の面接等を効果的に方向付けるので履修することが望まれる また、テキスト精読前提で演習中心の授業をおこなうので、必ずテキストを準備し、精読をしておくこと		
オフィス・アワー	教務課・キャリア支援係へ相談下さい。適宜、担当教員との連絡調整をします（月～金、9:00～17:00）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)		
1	脇谷 聖美	オリエンテーション、プレゼンテーション演習、課題の抽出					テキスト第1～5章の事前精読（12時間）		
2	〃	伝わる構造と話しの組み立て方、プレゼンテーション演習							
3	〃	グループディスカッション演習、プレゼンテーション演習							
4	〃	参画型の活発な討論の仕方、グループディスカッション演習					課題レポートの取り組み（30分）		
5	〃	プレゼンテーション演習、効果的な伝え方と視覚資料（スライド）活用							
6	〃	プレゼンテーション演習、シナリオ作成と添削							
7	〃	プレゼンテーション演習、視覚資料（スライド）の作成と添削、リハーサル							
8	〃	受講成果プレゼンテーション、相互評価、授業の振り返り					テキスト再精読、日常での実践		